

岩戸落葉神社から、岩谷峠、青谷峠、縁坂峠経由中町へ

- 1 実施日 : 2024 年 12 月 18 日 (水)
- 2 天 候 : 晴れ
- 3 参加者 : 10 名 青木、川鍋、園田、田中、中原、檜崎、細田、牧野、増尾、園田
- 4 行 程 : 岩戸落葉神社 10:27→10:52 小分岐 10:55→11:26 ロープ場上 11:33→11:56 あるピーク 12:01→12:05 尾根 (岩谷峠から青谷峠寄りの) 12:07→12:12 P667 12:17→12:57 青谷峠 13:02→13:24 青谷峠に戻る 13:30→13:49 P620 13:52→14:22 縁坂峠 14:25→15:17 大森中町

7:50 頃乗車したものの、阪急電車が人身事故のため、大幅に遅延。阪急西院に大森サンバレーの送迎バスが 8:30 に迎えに来る。とても間に合わず。間に合ったのは JR 利用の一人のみ。電話連絡でどこかでバスを停めてもらい、9:30 頃再度西院に来て欲しいと頼む。結果的に、9:25 頃再度ピックアップしてもらい、大森に向かうが、栈敷ヶ岳には上れない。計画変更を考える。十数年前に岩戸落葉神社から薬師峠まで歩き、大森サンバレーまで下られた時間が案外短かったので、このルートで忘年会会場のサンバレーに降りることにする。

岩戸落葉神社からは、なだらかな林道で歩きやすい。快適に歩を進めていたが、やがて林道が終わり、道も踏み跡も見つからない。とにかく岩谷峠まで何とか行こうと、手探りで上る。しかし、遂に急峻な山肌に取りついてみると、なんと比較的新しいロープが垂れていた。垂直に近い斜面をロープを頼りに上りきる。この後も踏み跡もなく、やっかいな斜面をよじ登る。結果的に岩谷峠の青谷寄りの尾根に出た。この後は尾根をはずさないよう、青谷峠を目指す。P667 のピークを踏み、青谷峠に着いたのは 13:00 過ぎ。これでは薬師峠には届かない。大森に降りるのは、この青谷峠からと、この先の縁坂峠からの二つしかない。早く降りるため、青谷峠から下ることにする。少し下り、谷を見ると倒木で埋め尽くされている。ここを通過するのは困難と見、サンバレーに遅れる旨連絡し、峠に戻り、縁坂峠まで進むことにする。写真撮る余裕なし。

青谷峠から尾根を進み、P620 を経由し、小一時間で縁坂峠に。小休止を取り、大森方向へ手探りしながら下る。やがて少し広い谷に出たが、ここも倒木だらけ。もう逃げ道はないので、何とかルートを探り、足場を確かめながら下る。苦勞してなんとか倒木の谷を下り、谷が右に折れるところまでやって来た。ここからは倒木も少なそう。ところが、人数確認すると一人いない。何度も大声で呼びかけるも返事なし。ヤバイことになったと思い倒木の谷を上り返してると、上に人影を発見。無事でよかった。一時は肝を冷やしたが。中町に下り、送迎バスに再びピックアップ依頼し、大森サンバレーに到着。大幅に遅れて、ボタン鍋で忘年会。ことさら今日の鍋はおいしい。



1, 周山街道から大森に向けて入って直ぐの、岩戸落葉神社をスタート



2, まず岩谷峠を目指すので、道は合ってるし、歩きやすい道だ



3, 少しずつ高度を稼ぐが、踏み跡が怪しくなってくる



4, ついに道も、踏み跡もなくなり、力ずくで進む



5, 道無き斜面をよじ登る



6, この先は落ち込んでるため進めず、やむなく急斜面をよじ登る



7, 厳しい上り



8, 厳しい上りが続く



9, 地図上の P667 に到達し、全員で



10 道も、踏み跡もないので、尾根をはずさないよう進む



11, 青谷峠からの下山を断念し、縁坂峠に向かう途中の、P620にて



12, 縁坂峠目指して木々をかき分け進む



13, ぼたん鍋の新年会の始まり



14, 無事下山でき、新年会も終わり、囲炉裏端で、「たいへん面白い山歩きやった」、との声が